

5 国内産食品（精穀類、野菜、果実、水産物、畜産物、加工食品）の品目別仕入状況及び流通経路

(1) 精穀類

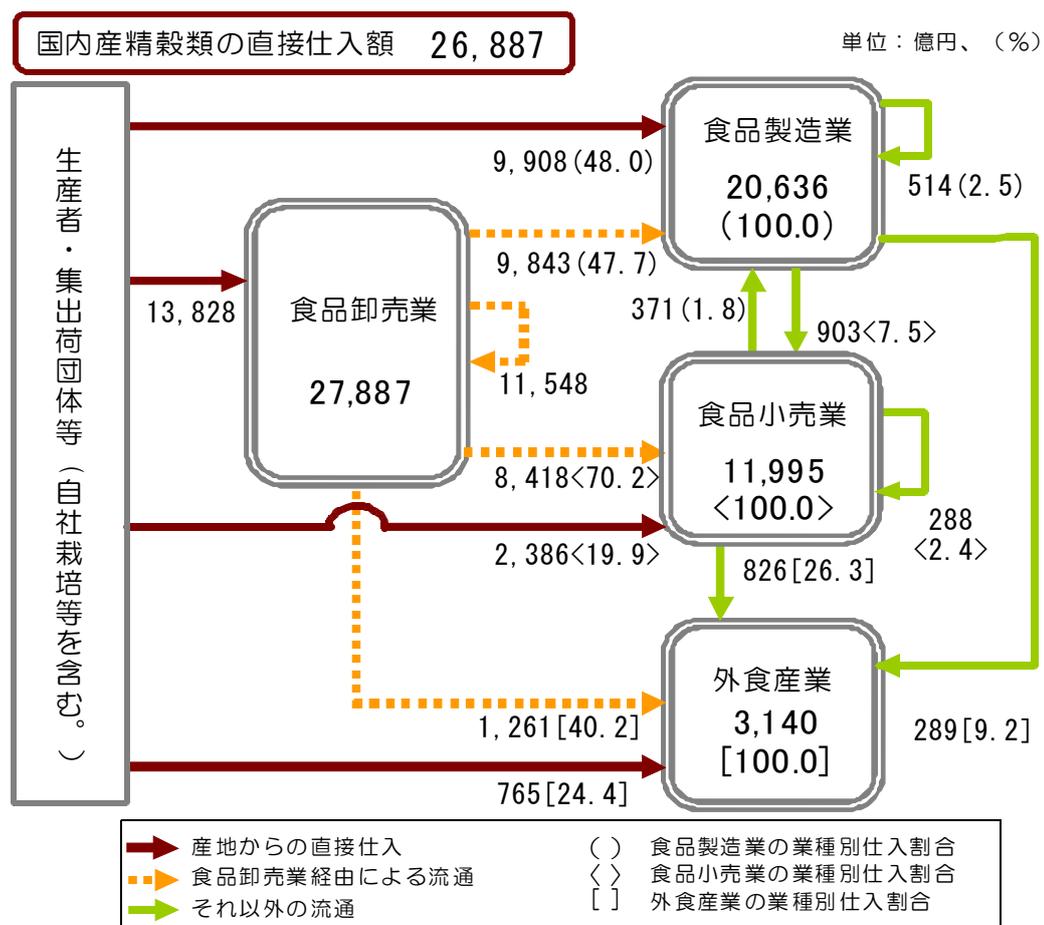
ア 仕入状況

食品産業における国内産精穀類の直接仕入額（生産者・集出荷団体等（自社栽培等を含む。）以下30ページまで同じ。）は2兆6,887億円で、このうち食品卸売業が1兆3,828億円、食品製造業が9,908億円となっている。

イ 流通経路

業種別に国内産精穀類の仕入額をみると、食品製造業は2兆636億円で、生産者・集出荷団体等からの仕入れが48.0%と最も高くなっている。また、食品小売業は1兆1,995億円、外食産業は3,140億円で、食品卸売業からの仕入れがそれぞれ70.2%、40.2%と最も高くなっている。

図11 国内産精穀類の主な流通経路別仕入額



注：1 □内の数値は、食品卸売業、食品製造業、食品小売業及び外食産業における同業種間の流通を含む延べ仕入額である。

なお、括弧内は仕入額（延べ仕入額）に対する割合である。

2 上の図には、直接消費者へ流通するもの等は含んでいない。

3 生産者・集出荷団体等には、自社栽培等を含む。

(3) 果実

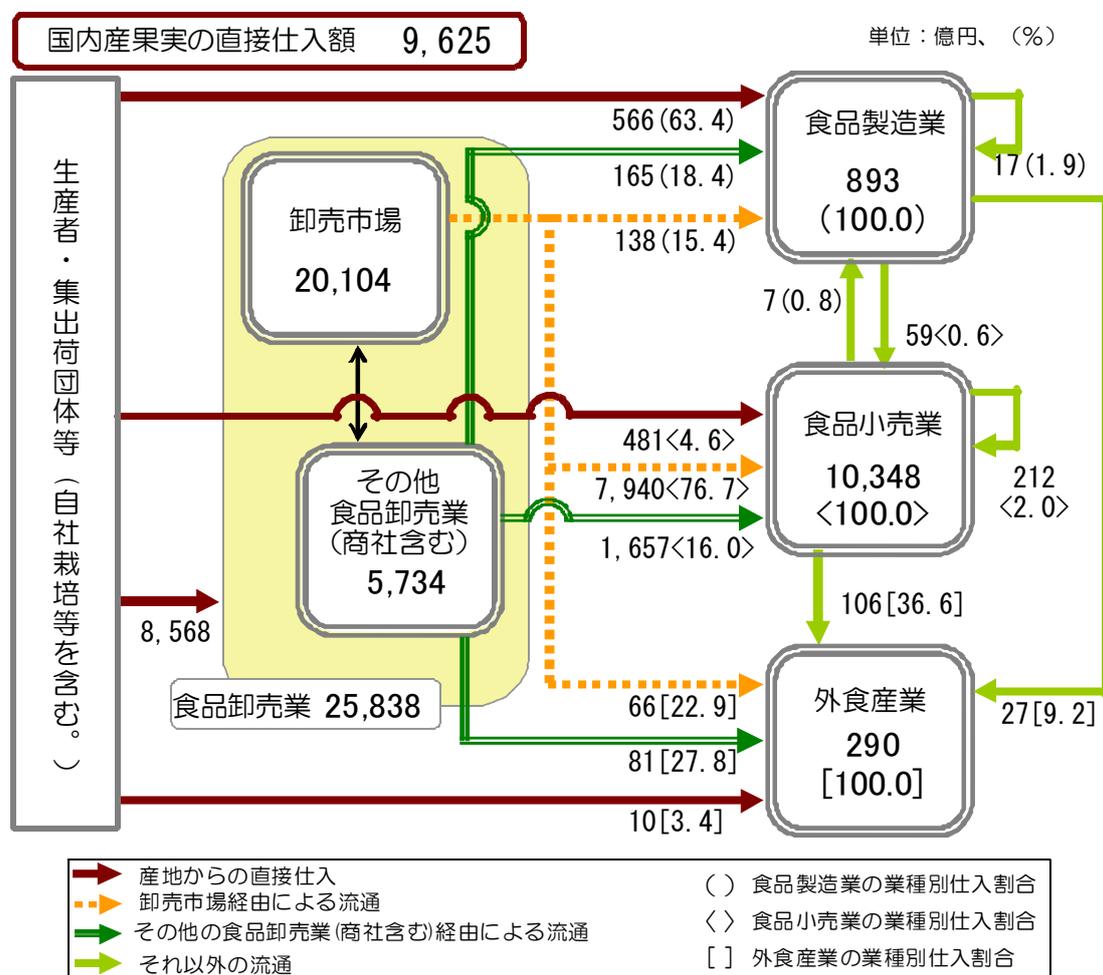
ア 仕入状況

食品産業における国内産果実の直接仕入額は9,625億円で、このうち食品卸売業が8,568億円となっている。

イ 流通経路

業種別に国内産果実の仕入額をみると、食品製造業は893億円で、生産者・集出荷団体等からの仕入れが63.4%と最も高くなっている。また、食品小売業は1兆348億円で、卸売市場からが76.7%、外食産業は290億円で食品小売業からの仕入れが36.6%と最も高くなっている。

図13 国内産果実の主な流通経路別仕入額



- 注：1 □内の数値は、卸売市場、その他食品卸売業（商社含む）、食品製造業、食品小売業及び外食産業における同業種間の流通を含む延べ仕入額である。
 なお、括弧内は仕入額（延べ仕入額）に対する割合である。
 2 卸売市場の数値は、卸売市場内の卸売業者及び仲卸業者が仕入れた延べ仕入額である。
 3 上の図には、直接消費者へ流通するもの等は含んでいない。
 4 生産者・集出荷団体等には、自社栽培等を含む。

(5) 畜産物

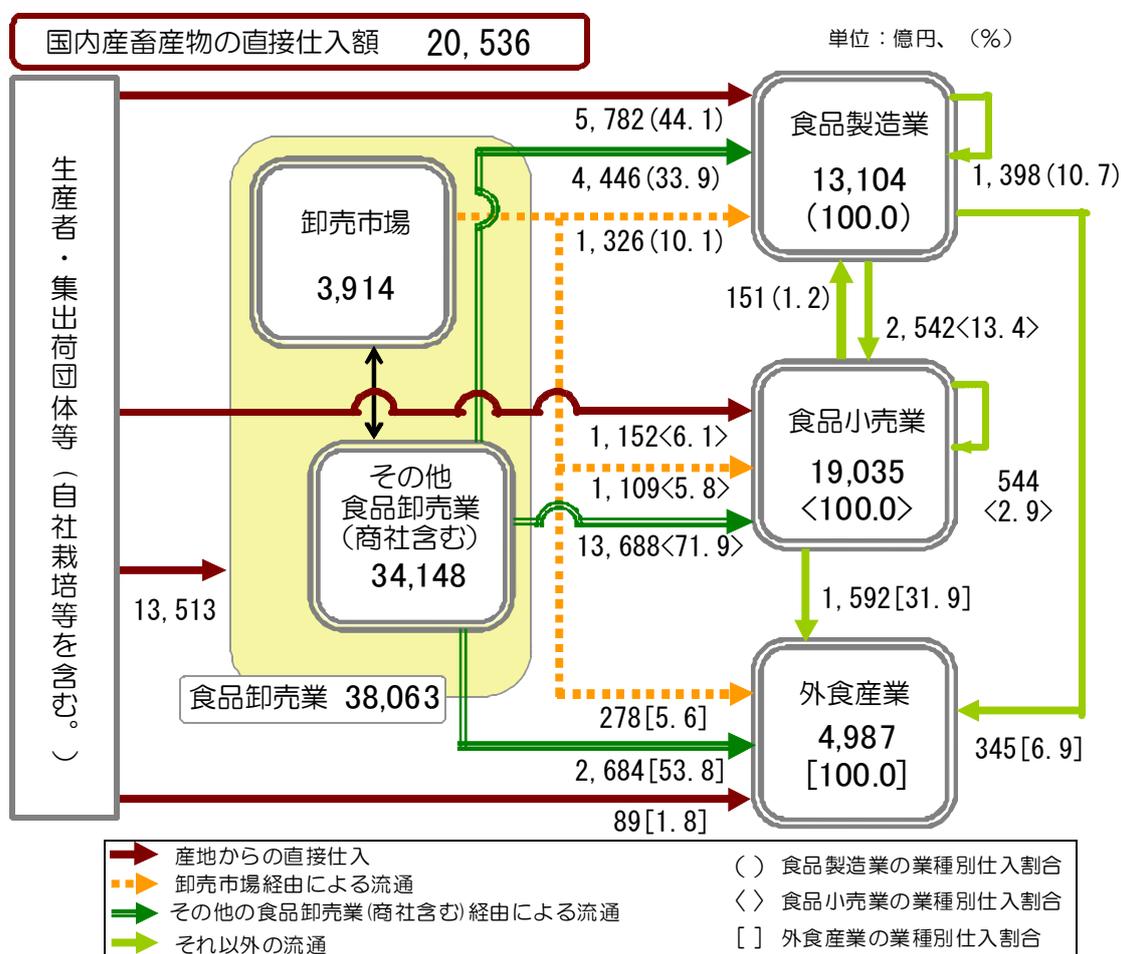
ア 仕入状況

食品産業における国内産畜産物の直接仕入額は2兆536億円で、このうち食品卸売業が1兆3,513億円となっている。

イ 流通経路

業種別に国内産畜産物の仕入額をみると、食品製造業は1兆3,104億円で、生産者・集出荷団体等からの仕入れが44.1%と最も高くなっている。また、食品小売業は1兆9,035億円、外食産業は4,987億円で、その他食品卸売業（商社含む）からの仕入れがそれぞれ71.9%、53.8%と最も高くなっている。

図15 国内産畜産物の主な流通経路別仕入額

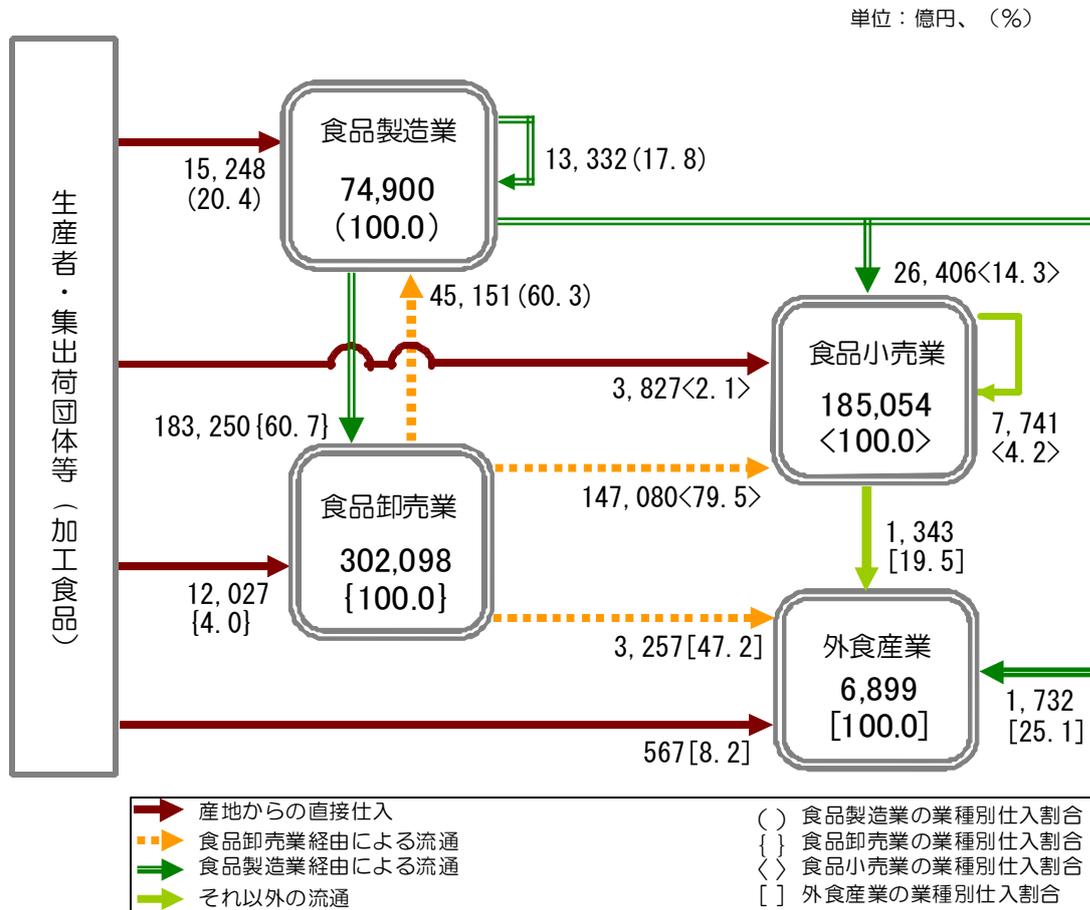


- 注：1 □内の数値は、卸売市場、その他食品卸売業（商社含む）、食品製造業、食品小売業及び外食産業における同業種間の流通を含む延べ仕入額である。
 なお、括弧内は仕入額（延べ仕入額）に対する割合である。
 2 卸売市場の数値は、卸売市場内の卸売業者及び仲卸業者が仕入れた延べ仕入額である。
 3 上の図には、直接消費者へ流通するもの等は含んでいない。
 4 生産者・集出荷団体等には、自社栽培等を含む。

(6) 加工食品

食品産業における国内産加工食品の仕入額をみると、食品製造業は7兆4,900億円、食品小売業は18兆5,054億円、外食産業は6,899億円で、食品卸売業からの仕入れが、それぞれ60.3%、79.5%、47.2%と最も高くなっている。

図16 国内産加工食品の主な流通経路別仕入額



6 国内産食品の業種別輸出額及び一般消費者等への販売額

(1) 年間輸出額

食品産業（外食産業を除く）における国内産食品の年間輸出額は3,286億円で、このうち食品卸売業が2,663億円（81.0%）を占めている。また、品目別にみると、加工食品が2,165億円、水産物が994億円となっており、その2品目で輸出額全体の96.1%を占めている。

(2) 一般消費者等への販売額

食品産業（外食産業を除く）における国内産食品の一般消費者等への販売額は32兆2,732億円で、このうち食品小売業が30兆5,510億円（94.7%）を占めている。

図17 国内産食品の輸出額、一般消費者等への販売額

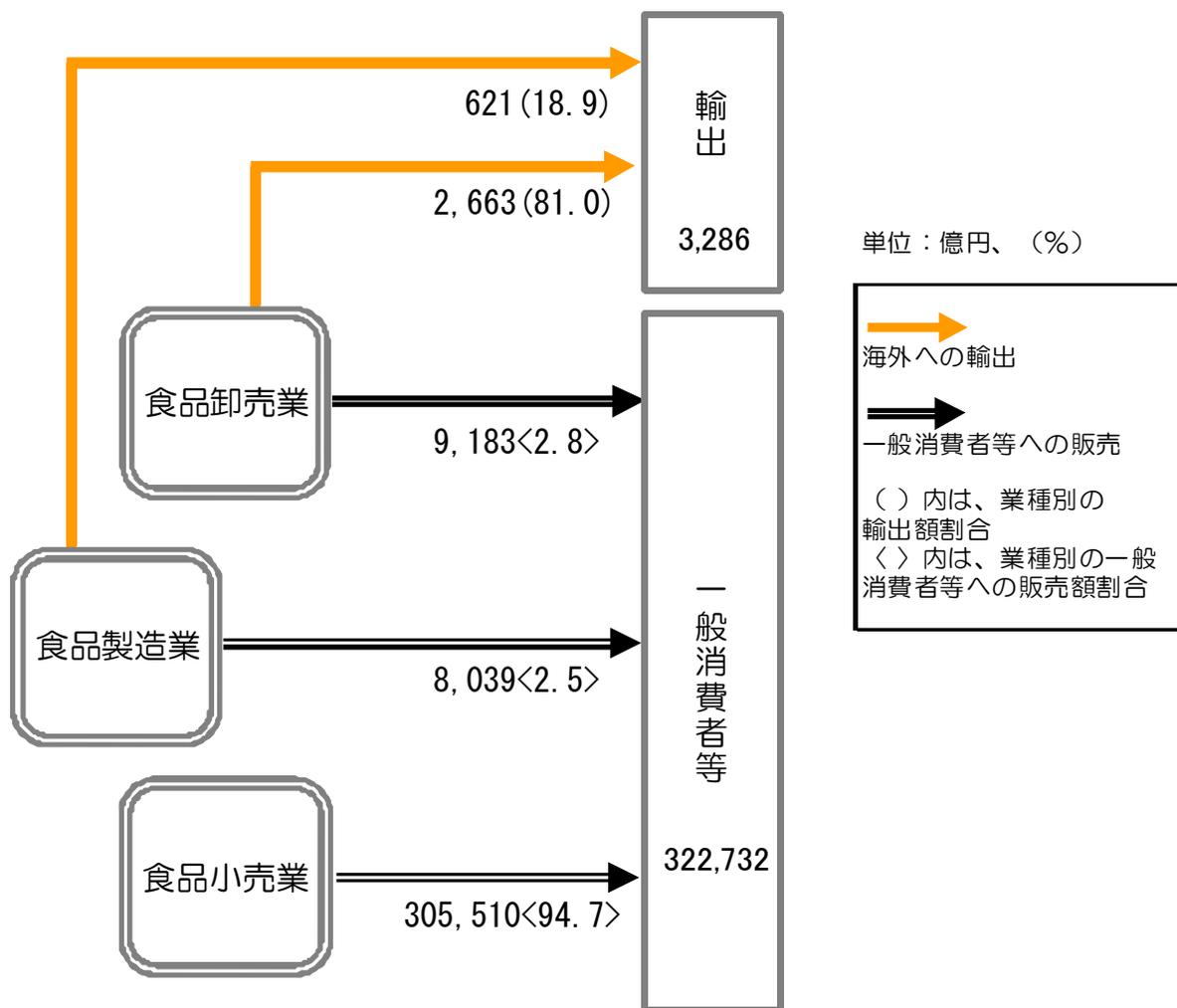


表3 食品産業における国内産食品の年間輸出額

単位：億円、（%）

	年間輸出額	
	金額 (億円)	割合 (%)
食品計	3,286	(100.0)
精穀類	12	(0.4)
野菜	32	(1.0)
果実	72	(2.2)
水産物	994	(30.3)
畜産物	11	(0.3)
加工食品	2,165	(65.9)

II - 2 海外進出企業調査

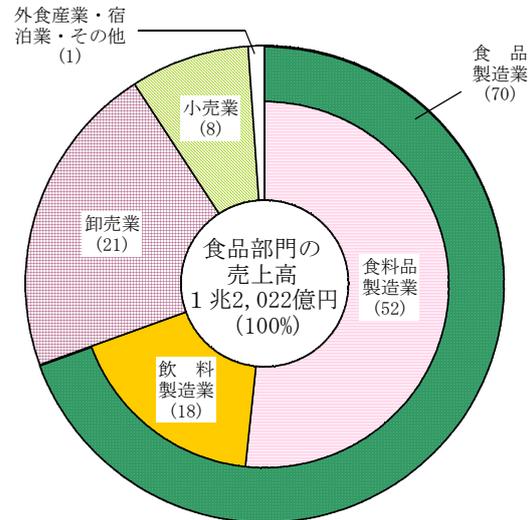
海外進出企業調査の結果は、情報収集等により把握した東アジア地域において食品を取り扱う現地法人を有すると思われる国内本社企業342社のうち、回答が得られた125社（約4割）について単純に加算集計したものである。
このため、東アジア地域における全ての食品を取り扱う現地法人の状況を表しているものではないので注意されたい。

1 食品部門の売上高

2006年度の東アジア地域における食品を取り扱う現地法人の食品部門の売上高は1兆2,022億円となった。

(1) 業種別の売上高割合をみると、食料品製造業（全体に占める割合52%）が最も高く、卸売業（21%）、飲料製造業（18%）、小売業（8%）の順となっている。

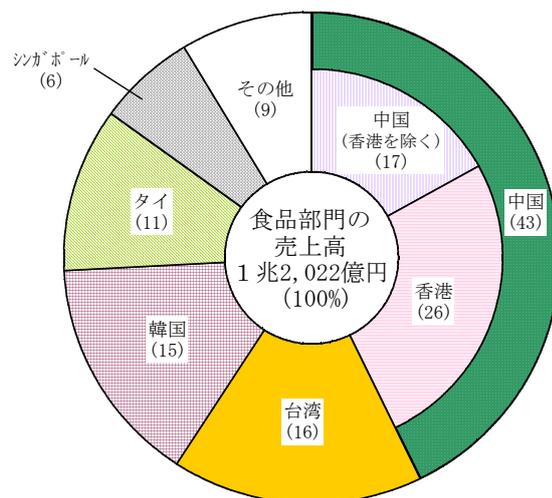
図18 食品部門の業種別売上高割合



注：食品部門の売上高の回答があった現地法人307社についての業種別売上高割合である。

(2) 国別の売上高割合をみると、中国（全体に占める割合43%）が最も高く、台湾（16%）、韓国（15%）の順となっている。

図19 食品部門の国別売上高割合



注：食品部門の売上高の回答があった現地法人307社についての国別・地域別売上高割合である。

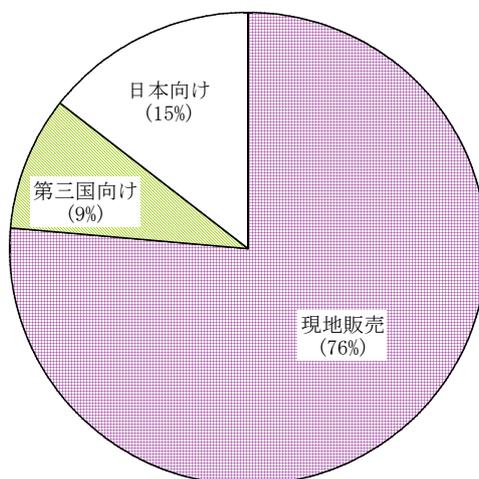
東アジア地域

本調査の東アジア地域とは、中国、台湾、韓国、シンガポール、マレーシア、タイ、フィリピン、インドネシア、ベトナム、ラオス、カンボジア、ミャンマー、ブルネイ及びインドの14か国・地域をいう。

2 食品の販売先別売上高割合

食品の販売先別売上高割合をみると、現地販売が76%、第三国向けが9%となっており、全体の85%は日本国外での販売となっている。

図20 食品の販売先別売上高割合

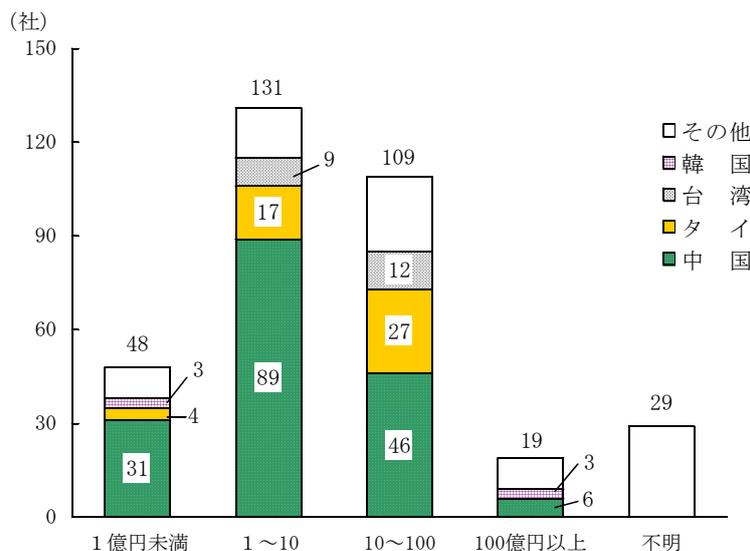


注：食品の販売先の回答があった現地法人282社についての販売先別売上高割合である。

3 現地法人の食品の売上高規模別法人数

食品の売上金額規模別にみると、1億円～10億円の階層が131社と最も多く、10億円～100億円が109社となっている。

図21 現地法人の食品の売上高規模別法人数



4 本社企業の資本金規模別平均現地法人数

本社企業1社当たりの現地法人数を本社資本金規模別にみると、100億円以上の階層が5.8社と最も多くなっている。

図22 本社企業の資本金規模別平均現地法人数
(1社平均)

